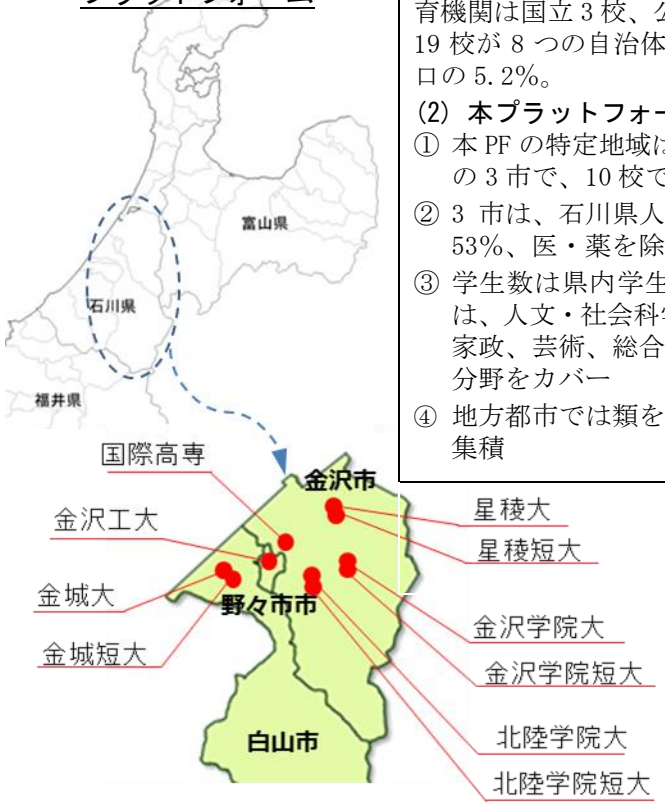
金沢市近郊
私立大学等の特色化推進
プラットフォーム



現 状

(1) 石川県の高等教育の概要

石川県は 19 の自治体で構成され、高等教育機関は国立 3 校、公立 4 校、私立 12 校の 19 校が 8 つの自治体に所在。学生は県全人口の 5.2%。

(2) 本プラットフォームについて

① 本 PF の特定地域は、金沢・白山・野々市の 3 市で、10 校で PF を構成

② 3 市は、石川県人口の 55%、大学等数の 53%、医・薬を除く全ての私大が参画。

③ 学生数は県内学生数の 47%、専門分野は、人文・社会科学、理学、工学、保健、家政、芸術、総合・新領域のほぼ全ての分野をカバー

④ 地方都市では類を見ない高等教育機関が集積

課 題

① 本 PF を構成する大学等の収容定員は 101.5%で充足しているものの 2024 年の 18 歳人口 1 割減に対して、学園都市の特性を活かした情報発信の在り方が十分に議論されていない。

② 本 PF 大学の就職は、大学院進学・正規就職の合計が全国平均 83.9%に比べて、89.8%と 6 ポイント程高いものの、10%を超える学生が正規の就職に至っていない。

③ 本 PF 大学の県外からの進学者数が 45%程度に留まっている。

④ 私学としての多様性・独自性という観点から足並みを揃えていくことが重要と捉えている。

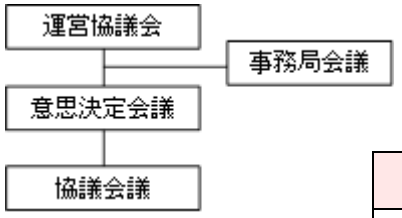
ビジョン・目標

① 「学都金沢」のブランド力向上に向けた役割を果たすと共に、Society5.0 に向けた人材育成ならびに地方創生に向けた新たな産業創出。具体的には、社会実装･新たな価値創造・教育の質向上に向けた、「異なる専門分野・類似分野の連携」。
連携数 18 と、これらのプロジェクトに参加する学生･ステークホルダーのからの満足度 95%以上。

② PF 構成校で共通する取組・業務について、それぞれの強みを共有化･集中化する議論を推進し、これまでに比べて一段質の高い取組・業務へと発展。

③ これらの活動を通して、学生のアクティビティ・満足度が向上し、その結果として、就職内定の率と質の向上から「学都金沢」のブランド力を向上させ「県外からの進学者の増加」から「入学定員」「収容定員」の十分な充足を図る。

運営体制



PFの構成	教育機関	地域自治体	産業界	
	金沢学院大学、金沢学院短期大学 金沢星稜大学、金沢星稜大学女子短期大学部 北陸学院大学、北陸学院大学短期大学部 国際高等専門学校	金沢市	金沢商工会議所	(一財) 北陸産業活性化センター
	金城大学、金城大学短期大学部	白山市	白山商工会議所	
	金沢工業大学	野々市市	野々市市商工会	

取り組み内容

① 教育の質向上に向けた各大学の資源の共有化ならびに集中

② 新たな価値創造に向けた異なる専門分野の連携

③ 強みの相乗効果による質向上に向けた類似する専門分野の連携

④ 石川県内への進学者の促進

⑤ 初等中等教育機関との連携及び協力

⑥ その他